

宮津市公共施設マネジメント推進会議（令和６年度第１回）		作 成	令和６年８月２７日（火）
会 議 録			宮津市企画財政部財政課
開催日時	令和６年８月２７日（火） １３時００分～１５時００分	出席者	別紙「委員名簿のとおり」
開催場所	宮津市防災拠点施設（宮津与謝消防署宮津分署２階） 【公開】		

■宮津市公共施設マネジメント推進会議（令和６年度第１回）の概要

宮津市公共施設マネジメント推進会議（令和６年度第１回）（以下「会議」という。）は次第のとおり進行され、その概要は下記のとおり。

１ 開会

◆座長挨拶

- 今年度は、宮津にとっては大事な年で市政70周年、宮津線開通100年の年にあたる。100年前に宮津が大きく変わり、今その100年後にいる。今後100年、どんなまちになっていったらいいのだろうと思いつつ、公共施設マネジメントのことを、委員の皆さんと一緒に考えていきたい。
- 今日は、上宮津地区公民館を見学できるということで、着々と取り組みが具体化しているのを現場で体験できるのを楽しみにしている。
- 加えて、庁舎集約化の動きについても報告がありますので、これは非常に大きなことだと思う。
- この後、事務局から令和５年度の公共施設マネジメントの取組状況・成果の報告があり、一旦、施設見学へ向かった後、一括して意見交換を行いますので、よろしくお願いします。

◆事務局説明

- 委員を資料１により紹介。角委員は、宮津市自治連合協議会会長の交代によりその後任として就任されたもの。
- 本会議は、令和２年９月に公共施設再編方針を策定した際に、市の公共施設マネジメントに係る計画の取組状況及び成果について、委員の皆様にご説明ご報告して、その進捗状況を確認いただくために設置したもの。
- 本会議の内容は、広く市民に関心を持っていただきたい内容であることから、会議は「公開」とし、後日、要点をまとめた会議録もホームページで「公開」とすること。SNS等で開催告知をしており、傍聴者（３人）があること。
- 委員９名中、所要のため欠席の吉崎委員を除き、過半数を超える８名に出席いただいており開催要件を満たしていること。

２ 報告

○令和５年度の公共施設マネジメントの取組状況・成果について、事務局から資料２に沿って説明。資料３～資料６については適宜、補足説明。

３ 施設見学

○令和５年度に旧上宮津小学校への移転整備が完了した上宮津地区公民館の見学を行った。上宮津地区公民館の館長が館内案内・説明。

４ 意見交換

○上記２の報告で事務局から説明した「令和５年度の公共施設マネジメントの取組状況・成果」及び「施設見学」等に関して、以下のとおり意見交換を行った。

（委員）上宮津地区公民館を見学したが、上宮津地区は活気のある地域なので、施設が活かされているように感じた。

（委員）地域のそうした努力と行政の様々な支援が掛け算されて、すごくいい形で活用されている印象を持った。

（委員）２年程前には見学した日置地区公民館は、何度も利用しているが、大きなプロジェクターなど映画も見られる環境にある。上宮津地区公民館も、いろいろな可能性があり、地域のコミュニティにつながる印象を持った。

もう一つは、旧上宮津地区公民館は、加悦から移築されたものと聞いた。文化的な価値も非常にあるように思うので、今後の活用をどのようにされるのかお聞きしたい。

（事務局）もともと木造で耐震性が無いことから移転した。遊休資産になったことから、今後検討することになる。

（委員）それをだれが検討し利活用していくのが大切。福知山市では、行政が支援して立ち上げた福知山まちづくり株式会社があり、官民に関わらずトータルでまちのリノベーションをどうしていくのかを考えている。城崎では、湯のまち城崎株式会社があり、国からお金を引っ張ってきて、公民館のような耐震は無いけれども価値のある建物を民間で活用し、たくさんの客を集めるなど取り組みをされている。宮津市は、民間の力を取り入れるため、サウンディング調査や空き家活用のモデル事業もされているが、そういった民間の組織は無いですね。民間だけで立ち上げるのは難しいところもあるが、個々の点で民間活用を検討するのはもったいないので、官民が一緒にトータルでエリアマネジメントを考えていくことが大切。そういう意味で、旧公民館を今

後どうしていくのかは、これまでと違うやり方も検討いただけたらと思う。

(委員) 上宮津地区公民館の見学で、利用できるのは上宮津地区の方だけだと思っていたが、大学生の方でも利用できることを知った。宮津市民の方でも、利用できることを知らない方はあると思うので、せっかくいい施設となったので、その辺の発信力もよろしくをお願いしたい。

(事務局) どうしても地元優先というイメージがありますが、新しくなった施設ですので、そういったことも検討していきたい。

(委員) 上宮津地区公民館は、500円と言われたと思うが、利用料金が非常に安いと感じた。歴史の館の中央公民館はもう少し高いが、夜間に開けると、管理人の人件費や電気代もかかり赤字になると思う。もう少し利用料金の引き上げを考えてもいいのでは。

(委員) 宮津市では、公民館の利用料金は一律なのか、それぞれで決めているのか。

(委員) 施設ごとです。利用料金は安すぎる場所もあり、使用料や手数料の全体的な見直しを来年度に向けてやっていかないといけない。せめて管理費を賄えるようにしたい。利用いただくのも大事なので、状況を把握してこれから検討していきたい。

(委員) 利用料金に、地元民とよその方に差をつけるのはありだと思う。

(委員) 福知山市では、中学校区ごとに公民館があるが、地区内の住民は無料で、地区外の人是一定の使用料がかかる仕組み。宮津市は、関係人口の創出という大きなテーマがあるので、市外から来る人も呼び込むという点では、市外の方は少し高めでもいいが、使える施設があるということを広報・宣伝をすると、そこで新たな交流が生まれたりしていいと思う。

(委員) 地元自治会の公民館は、地元民は無料で、よその方には2,000円いただいている。当然、管理費や修繕費もかかるので、よその方からは当然取るべきだと思う。

また、地元へ譲渡する場合、継続使用するのに経年劣化し修理費用が必要になるが、市は当然負担しないということになるので、必要な修理ができなくなり、結局は壊さないといけなくなることも考えられる。市の財政がひっ迫する中で、公共施設の総量を減らすのは仕方ないと思うが、譲渡後の管理費や利用料金、修繕費用などについて、市もよく考えていただかないと、地元が大きなリスクを背負うことになって、地域の疲弊につながっていくと思う。

(委員) 集会所とか地域で使う施設の譲渡後のサポートはどうか。

(事務局) 譲渡にあたっては、化粧直し等の費用を支援する負担金を設けておりますが、将来的な維持管理の不安などから、難しい案件もあります。

(委員) お金を渡すことでは解決しない。集合住宅なら積立金をして、定期的に修繕をして長期に使用していくが、民間では専門家が入っているのでそれができる。譲渡を受けた自治会が自ら施設のメンテナンスや資金計画を立てるのは難しいので、そこへの行政支援のお考えはあるか。

(委員) 自治会集会所は、地域で整備されたものがほとんどで、そうした施設まで行政が支援するのは厳しい。一方、通常の公共施設では、途中からは厳しいが、新規に建てる場合は、民間の会計処理のような減価償却や改修費積立も、今後は考えていかないといけないと思っている。

ただ、宮津市の公共施設は、平均より2倍近く床面積が多く、施設のあり方を一つ一つ見ながら、使われていない施設から手を付けていかざるを得ない。未来への投資では、生活関連施設がめじろおしで、し尿処理施設だけでも20億、30億かかる。財政健全化も図りながらも、しっかりとコントロールしていくのが基本と考えている。

(委員) 資料3の3ページにある共同集会所及び共同作業所、農機具保管庫の取組み状況に「継続使用を希望するものの施設所有のリスク等の課題も生じてきているところ」というのがある。これがまさに、もらった方がいいがどう維持していくのか、修繕費はどうするのかということ。市は財政が厳しいのでお金を出すということではなく、「利用料金で少しでも積立で行こうとか、クラウドファンディングで自己資金を貯めようとか、場合によっては自治会費から積み立て行こうか」そんなソフトのアドバイスをされてもいいかなと思う。行政職員が直接しなくても、プロボノという専門家がボランティアで支援をする仕組みもある。お金のないところは知恵を使って、ご検討いただけたらと思う。

(委員) 自治連の関連で「持続可能な地域コミュニティをどうするのかという会議」にも出席している。その中で、先にご発言のあった修繕費用の積み立てとかクラウドファンディング的なものも考えていく必要はあると思うが、そもそも、その担い手となる自治会役員になり手が無い状況がある。仮に、施設の譲渡を受けても、役員の意識の低下も懸念されるので、市には、施設管理に対するアドバイスなど、お金ではない部分で知恵を使っていたいただければありがたい。

(委員) 地域コミュニティの担い手の高齢化は、どこともが抱える問題となっている。

(委員) たくさんある自治会集会所の今後の使われ方は、気になっていたところ。先にご発言があったが、使い続けられるような仕組みを地域に提案するという形で、資金面も含めて、それから地域コミュニティを継続させるという意味も込めて、市はお金は出さないけれども、口とシステムは出すというのはすごくいいなと思った。

また、資料3の3ページに、今から進めないといけない13施設の児童遊園がある。これまでは子供たちが使っていたが、地域の状況も変化する中で、地域の人たちに最も身近な空地进行をどのように使っていくかは、もう少しアイデアがあってもいいと思う。地域によって使い続けられているものや、ほったらかしになっているものなど、様々だと思うが、事務局から提案があればお願いしたい。

こうした結構な数があつて地域に密着したところの管理は、これから考えていかなければならないと感じた。

(事務局) 児童遊園は、地域から提供された土地に市が遊具を設置してきたもの。子供の数が減る中で、残していく児童遊園の遊具は更新し一定の集約化も図りながら、遊具が老朽化し使用頻度が減っているところは、安全も第一にしながら、地域と遊具の撤去の話しているところ。先ほど委員からあつた地域としてどう使っていくのかも同時に話しながら、徐々に整理していくもの。

(委員) 西部自治連では、地区に滝上児童公園があり、各自治会から20人ほどが出て、月一回ボランティアで草刈りをしている。この公園と周辺のお宮なども含めて、昔から地区の憩いの場となっており、この公園は西部自治連でまもる意識づけの中で管理している。そういう意識づけは、どういう形での使用になっても必要だと思う。

(委員) 先の知恵を出す話の関連で、地元にある府中ふれあい広場では、ゲートボールをする人がいなくなり、そのスペースで子供たちがサッカーやバスケットボールをしている。他にも、スケートボードなども流行っていると思うが、そうした若者のニーズを大切にすると子供たちは喜ぶ。この公園の遊具が新設されるという話を聞いたが、大きな遊具でなくても、バスケットゴールがあるとか、サッカーしてもフェンスで守られるとかすれば、子供やその親の交流の場にもなる。遊具の設置だけでなく、少し違った視点で交流ができるようなアイデアを出すのもいいかなと思う。

(委員) それぞれの自治会で、いろいろと工夫されているのが良く分かった。

(委員) 今のお話は、児童遊園の公共施設としてのあり様からは少し外れるかもしれないが、遊び方とか使われ方を宮津市全体で考えて、それぞれ特徴のある児童遊園が生まれることによって、地域の人たち全体が潤うのであれば、そういうやり方もあるのかなと思った。ルール上の整理にハードルはあると思うが、児童遊園のネットワークのようなものが新しくつくられるような気がして、すごく面白そうでワクワクした。

(委員) 私の自治会には、フェーズ1に浜公園、フェーズ2には消防車庫横の公園と2つの児童遊園がある。浜公園は、夏のラジオ体操や災害時の土のう置場で使用している程度で、自治会で年1、2回の草刈りをしている。もう一つの公園は、当て逃げがありフェンスが壊れているが市では修理できないとの意向だった。こうした状況もあり、この2つの公園は、フェーズにこだわらず廃止で進めていただけたらどうかと思う。

(委員) 先ほどの消防車庫横の公園は、お祭りの終わりにお神輿さんが入って儀式を行う大切な場所なので、西部地区としては、その場所が利用できなくなるのは困る。児童遊園を無くすのは良いが、その後の使い道もしっかり考えてもらいたい。

(事務局) 児童遊園は、そもそも底地もその管理も地元ですが、市が設置した遊具の老朽化が課題となっており、その優先順位をづけの中でフェーズを分けている。土地をお返しする際に、そこに残る空き地の利活用にあたっては、地元と話をさせていただくことになる。

(委員) 旧上宮津地区公民館は、何らかの形で残してもらいたいと思う。市内の文化財的なものは、宮津城では小学校に門が残るのみ、明治からあった官舎や公舎も無くなった。篠山には、旧裁判所や公民館がたくさん残っていて見どころがあった。出石でもそうだが、時代をさかのぼって伝統を大切に作る良きまちだと感じた。宮津市は、どちらかというと、古いものは壊して、新しいものに建替えていくという視点が強いと思う。耐震関係も含めて管理コストなどの経済的な側面もあるので、それが間違えとは言えないが、長い目で見るとどうかとの視点で整理されるのは重要なと思う。

また、丹後郷土資料館に、久美浜の方から譲渡された旧長島家という古民家がある。そういうところを何か所か大切に残すと、観光ルートのポイントにもなると思うので、一考していただければとありがたい。

◆座長まとめ

○今日の議論を通して、公共施設マネジメントは、財政的な面を考えると、進めていくことが非常に重要だという共通認識を持てた。

○その中で、上宮津の旧公民館の話とか、庁舎集約化では今の市役所をどうするのかと

いう話も今後出てくると思うが、残った施設を今後どう宮津のまちに活かしていくのか、そこをしっかりと考えていくことが大事だという皆さんの声が非常にあったと思う。

○また、自治会間の交流が意外と少ないと感じた。自分のところでは、こんな形で公園や公民館を利用しているよとか、宮津の中で交流して知恵の交換をするだけでも、今後のヒントがたくさん得られるのではないかと思った。

○加えて、児童遊園のネットワークをつくったらどうかとのお話もあった。宮津の中で、地域のいろいろな情報がつながって、市民の知恵もいっぱい入ってくると、新しい切り口が生まれてくるのかなという印象を持った。

7 その他

○事務局から、本日の会議録を作成し、各委員に確認した上で、市のホームページに公開することを説明。

○次回の開催は、協議案件が出てきたときに随時案内することを説明。

8 閉会